

放射線による健康影響に関する母子保健関係者等研修会実施状況

1 開催目的

栃木県に拡散された放射性物質の状況については、平成23年10月末に設置された「放射線による健康影響に関する有識者会議」において健康に影響を及ぼす状況ではないとの見解を示された一方、子どもや妊婦はその影響を受けやすいと言われていることから、特に不安を抱く子どもを持つ親や妊婦等への心理的サポートが必要であるとの意見が出された。

地域住民の健康の不安についての相談は、市町に寄せられることが多く、その場合主に母子保健担当の職員等が相談を受けている状況である。

これらのことを踏まえ、市町の母子保健担当職員等が栃木県の放射線の状況や放射線に関する正しい知識を持ち、地域住民の不安に関する相談に適切に対応できるよう当該研修を実施した。

2 日時：平成24年3月8日（木） 15時30分～18時00分

3 場所：栃木県総合教育センター 大講義室（宇都宮市瓦谷町1,070）

4 内容

(1) 講話「栃木県内の放射線被ばく状況と低線量被ばくの影響について」

講師 国際医療福祉大学クリニック 院長 鈴木 元 氏

(2) 講話「放射線による健康影響」～放射性物質と食の安全性について～

講師 自治医科大学 医学部 薬理学講座 環境毒性学部門
教授 香山 不二雄 氏

(3) 講話「放射線による健康影響」

～放射性物質による子どもへの影響について～

講師 獨協医科大学 医学部 小児科 教授 有阪 治 氏

5 対象者

市町母子保健等担当職員（母子保健担当者、児童福祉・保育行政担当者等）、
県健康福祉センター担当職員、保育所等職員（保育士、幼稚園教諭等）

6 参加者

161名

（幼稚園教諭19名、保育所職員78名、市町村職員49名、県関係職員15名）